

第4号 稲作管理特報

平成29年5月26日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

「穂数型稲」に向け、初期茎数の確保が重要です。中干しまでは浅水管理を続け、分けつの発生を促しましょう。

昨年は中干しが遅れ、根づくりが十分に行えなかったほ場が多かったことから、適期に溝掘りや中干しを行い、夏の高温に耐えうるしっかりとした根づくりに取り組みましょう。

【これからの水管理のイメージ】



1. 浅水管理 ～初期茎数を確保する～

- ・中干しまでは、浅水管理で水温を高め、分けつの発生を促しましょう。
- ・アオモが発生したり、ブクブクとわいているほ場、葉色の淡いほ場は、軽い田干しを行いましょう。

【直播栽培の水管理】

- ・除草剤散布前に水を入れ替える
- ・わいているほ場は、軽い田干しを行う

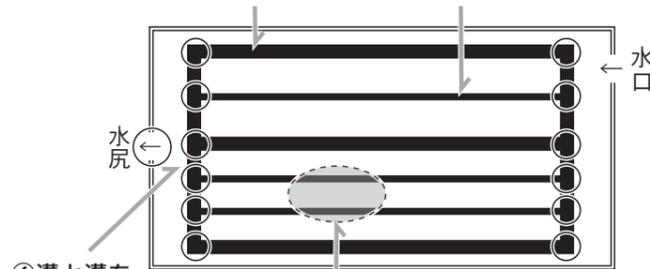
2. 溝掘り ～中干しの効果を高める～

- ・溝掘りは、中干し前に必ず実施しましょう。

溝掘りのポイント

- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせて溝を掘る。
- ・溝の間隔は、5mに1本を目安に行う。
- ・ほ場の周囲と中央の1本は、特にしっかりと掘る。
- ・溝は、水尻まで確実に連結する。

② 額縁と中央の溝はしっかりと ① 5mに1本を目安に



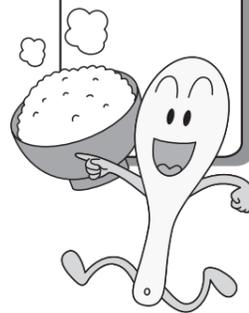
④ 溝と溝を必ずつなぐ

③ 乾きにくいところを重点的に!



<土が硬いと溝がしっかり残る>

『溝掘り・中干し』は時期を逃さずに行い、しっかりと根を伸ばそう!



● 溝掘りの効果

- ① ほ場のすみずみまで均一に干すことができる。
- ② 間断かん水の際など、水の出し入れがスムーズに行える。

3. 中干し ～根の量をしっかりと増やす～

- ・中干しは、田植え後1カ月頃（70株植えの場合：株当たり16本程度）から開始し、本格的な梅雨の前にしっかりと干しあげましょう。
- ・中干しが遅れると根張りが悪くなり、青米や乳白粒が発生する原因となります。

中干しのポイント

- ・田面に小さなひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで干す。
- ・表面に水がなくても足が沈むようでは不十分です。



※茎数が多くなりやすい田や乾きにくい田は、やや強めに干しましょう。

※茎数が少なめの田や乾きやすい田は、一度に干しあげないようにしましょう。

● 中干しの効果

- ① 根の伸長を促進する。
- ② 過剰な分けつを抑制する。
- ③ 出穂後の湛水管理に備えてほ場を固くする。
- ④ ほ場を固くすることで、秋のコンバイン作業が効率的に行える。



品質の良い株(根)

品質の悪い株(根)

中干し有

中干し無

【中干しの有無が根の生育に及ぼす影響】